

県内中小企業(製造業)景況動向

平成29年10月～12月期

一部で好転の兆しも、人手不足や原材料高が目立つ

本会調査結果概要

29年4月～6月



DI 平均値▲4.1

29年7月～9月



DI 平均値▲14.3

29年10月～12月



DI 平均値▲10.3

来期見通



DI 平均値▲9.4

業種別景況動向

食料品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲10.2	▲27.1	▲14.8	▲14.8

前年同期比の売上高DIは▲11.8、収益性DIは▲17.7で、両方を合わせたDI平均値は▲14.8となり「小雨」模様が継続している。来期見通しは今回調査と同じく▲14.8となり「小雨」模様が継続見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは13.7、収益性DIは▲4.3となった。

また、雇用人員判断DIは26.7、設備操業率DIは▲2.2、設備投資実施率は29.4%となった。

繊維・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲11.1	▲35.0	▲11.6	▲1.8

前年同期比の売上高DIは▲12.9、収益性DIは▲10.3で、両方を合わせたDI平均値は▲11.6となり「小雨」模様になっている。来期見通しは9.8ポイント上昇して▲1.8となり「曇」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲16.1、収益性DIは▲13.7となった。

また、雇用人員判断DIは23.8、設備操業率DIは▲4.8、設備投資実施率は17.2%となった。

売上高と収益性を合わせたDI平均値(同期比)については▲10.3となり、前回調査(29年7-9月期)の▲14.3から4.0ポイント上昇している。来期見通しにおいては、0.9ポイント上昇して▲9.4となっている。

売上高DI(同期比)については▲7.3となり、前回調査から6.8ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲7.0となっている。

収益性DI(同期比)については▲13.2となり、前回調査から1.3

ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲11.7となっている。

業況DI(同期比)については▲8.5となり、前回調査から4.0ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲8.5となっている。

原材料価格DI(前期比)については39.8となり、前回調査から1.1ポイント上昇している。

販売価格DI(前期比)については▲2.7となり、前回調査から0.9ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)については▲6.3となり、前回調査から6.3ポイント上昇し、好転している。

金融機関の態度DI(前期比)については3.5となり、前回調査から4.3ポイント上昇し、緩和している。

設備投資実施率については30.1%となり、前回調査より3.2ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「プラスチック製品」の53.8%で、目的別では、「品質向上」が28.6%でトップとなった。また、来期の設備投資計画率については33.0%となった。

設備操業率DI(前期比)については▲0.9となり、前回調査から6.8ポイント上昇している。

雇用人員判断DI(前期比)については25.2となり、前回調査から4.5ポイント上昇している。



概況

紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
16.7	▲3.9	10.8	▲14.3
前年同期比の売上高D Iは21.5、収益性D Iは「好転」、「悪化」とともに14.3%で0.0で、両方を合せたD I平均値は10.8となり「薄日」模様になっている。来期見通しは25.1ポイントの大幅下降で▲14.3となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは42.9、収益性D Iは「好転」、「悪化」とともに7.1%で0.0となった。また、雇用人員判断D Iは21.4、設備操業率D Iは14.3、設備投資実施率は14.3%となった。			

木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
0.0	▲13.7	▲35.0	▲35.0
前年同期比の売上高D Iは▲30.0、収益性D Iは▲40.0で、両方を合せたD I平均値は▲35.0となり「雨」模様に転じている。来期見通しは今回調査と同じく▲35.0となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲10.0、収益性D Iは▲20.0となった。 また、雇用人員判断D Iは▲10.0、設備操業率D Iは▲20.0、設備投資実施率は0.0%となった。			

金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
10.0	▲2.9	▲13.7	▲4.6
前年同期比の売上高D Iは▲15.2、収益性D Iは▲12.1で、両方を合せたD I平均値は▲13.7となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは9.1ポイント上昇して▲4.6となり再び「曇」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とともに25.0%で0.0、収益性D Iは12.0となった。 また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは▲4.0、設備投資実施率は46.9%となった。			

窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲14.0	▲20.8	▲13.4	▲7.4
前年同期比の売上高D Iは▲12.2、収益性D Iは▲14.6で、両方を合せたD I平均値は▲13.4となり「小雨」模様が継続している。来期見通しは6.0ポイント上昇して▲7.4となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは4.9、収益性D Iは▲5.6となった。 また、雇用人員判断D Iは25.7、設備操業率D Iは▲16.7、設備投資実施率は29.3%となった。			

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲4.6	▲25.0	▲34.7	▲30.8
前年同期比の売上高D Iは▲38.5、収益性D Iは▲30.8で、両方を合せたD I平均値は▲34.7となり「雨」模様に転じている。来期見通しは3.9ポイント上昇して▲30.8となり「雨」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲15.4、収益性D Iは▲7.7となった。 また、雇用人員判断D Iは38.5、設備操業率D Iは▲7.7、設備投資実施率は53.8%となった。			

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲2.0	3.2	1.5	▲3.1
前年同期比の売上高D Iは9.0、収益性D Iは▲6.1で、両方を合せたD I平均値は1.5となり「曇」模様が継続している。来期見通しは4.6ポイント下降して▲3.1となり「曇」模様が続く見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは15.2、収益性D Iは3.4となった。 また、雇用人員判断D Iは30.5、設備操業率D Iは13.5、設備投資実施率は31.8%となった。			